

大村さんの講義を受けて

1 農業農村整備事業における建築コンサルタントの役割について

建築コンサルタントは行政から事業の発注を受けて、測量や地質調査などをし、調査計画を立て設計を行い、ゼネコンが施工できるように設計したものを行政に提出する仕事です。

主な事業としては、農業用水の安全管理・排水の改良ができるようにダム・堰・用排水路・用排水機場を整備する農業水利事業、集中豪雨などの災害に備えて排水施設を整備したり、ため池を改修したり、地すべりを防止する農地防災事業、水田や畑地の整備を行う農地整備事業が挙げられます。

2 本日の講義で最も印象に残ったキーワードについて

私が印象に残ったキーワードは、大村さんが最後に学生に対する話としておっしゃっていた、「専門」という言葉です。

何故印象に残ったかという点、仕事をする上で何か「専門」を持つておくべきだという大村さんの意見がとても自分の将来を考える上で大切になると思ったからです。実際大村さんは大学時代から農業工学を学び、その「専門」を生かして建築コンサルタントになり、今や会社の社長を務めていらっしゃいます。その経歴を持った方が人生を振り返って学生にこう伝えるというのは、すごく重みのある言葉だと思います。

話は変わりますが、英語で **professional** という言葉は、「職業上の」という本来の意味の他に「専門的な」という意味も持っています。それは、仕事は、専門的なものであるということを表しているのではないかと思います。

以上を踏まえ、私の将来を考えると、私は農業・環境経済を「専門」としてその「専門」が活かせる仕事ができるように、これから仕事や将来設計を行っていきたいです。